

How to start GitHub

初版: 2018年7月25日

更新: 2018年7月30日

目次

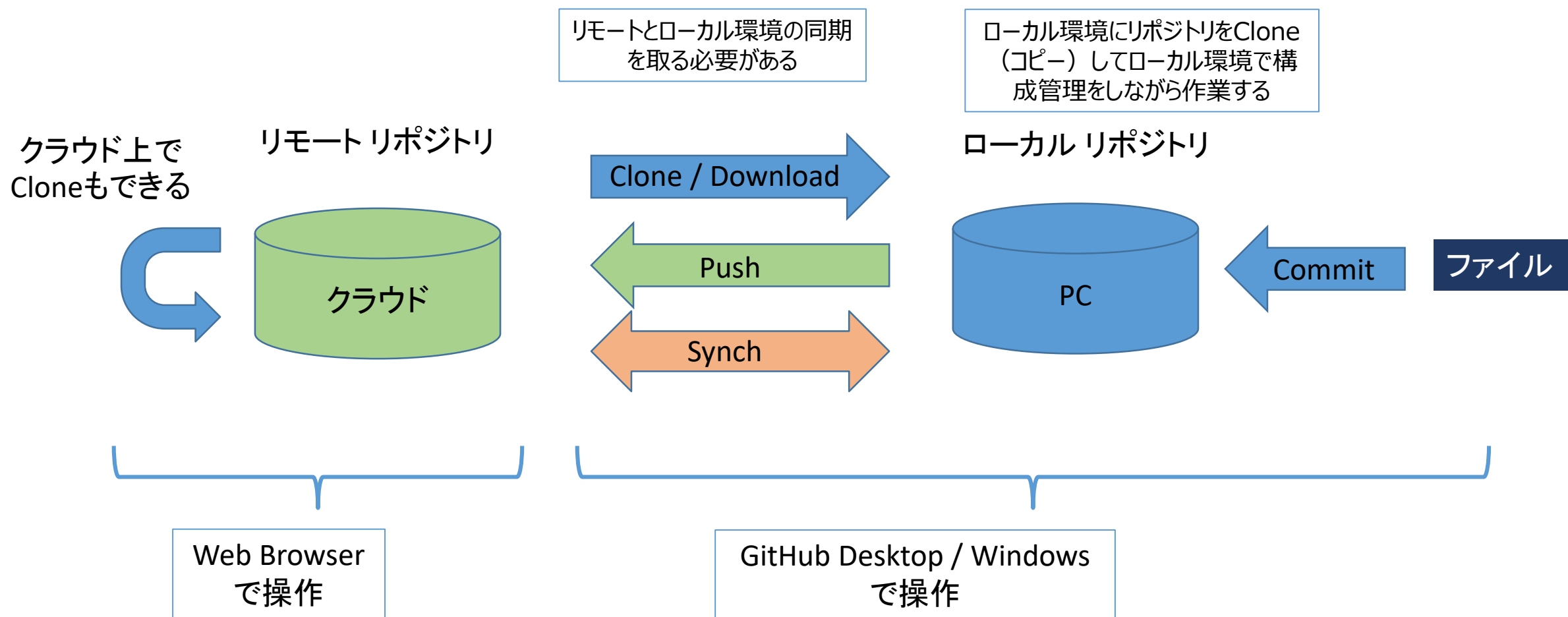
- 前提条件
- リポジトリのイメージ
- ファイル表示
- リポジトリ作成
- 初期設定
- 統計情報
- 新規ファイル作成1
- 新規ファイル作成 & Pull Request作成1
- GitHub Desktop起動
- 新規ファイル作成2
- 新規ファイル作成 & Pull Request作成2
- ブランチとPull Requestのイメージ
- ブランチとリポジトリのイメージ
- Issue登録
- Issue & Pull Request運用例

前提条件

- GitHub初心者向け
- GitHubを主にドキュメント管理に使う人向け
（ソフトウェア開発にはもっと詳しい知識が必要）
- Web上でGitHubアカウントを取得している
- GitHub DesktopをPC上にインストールしている

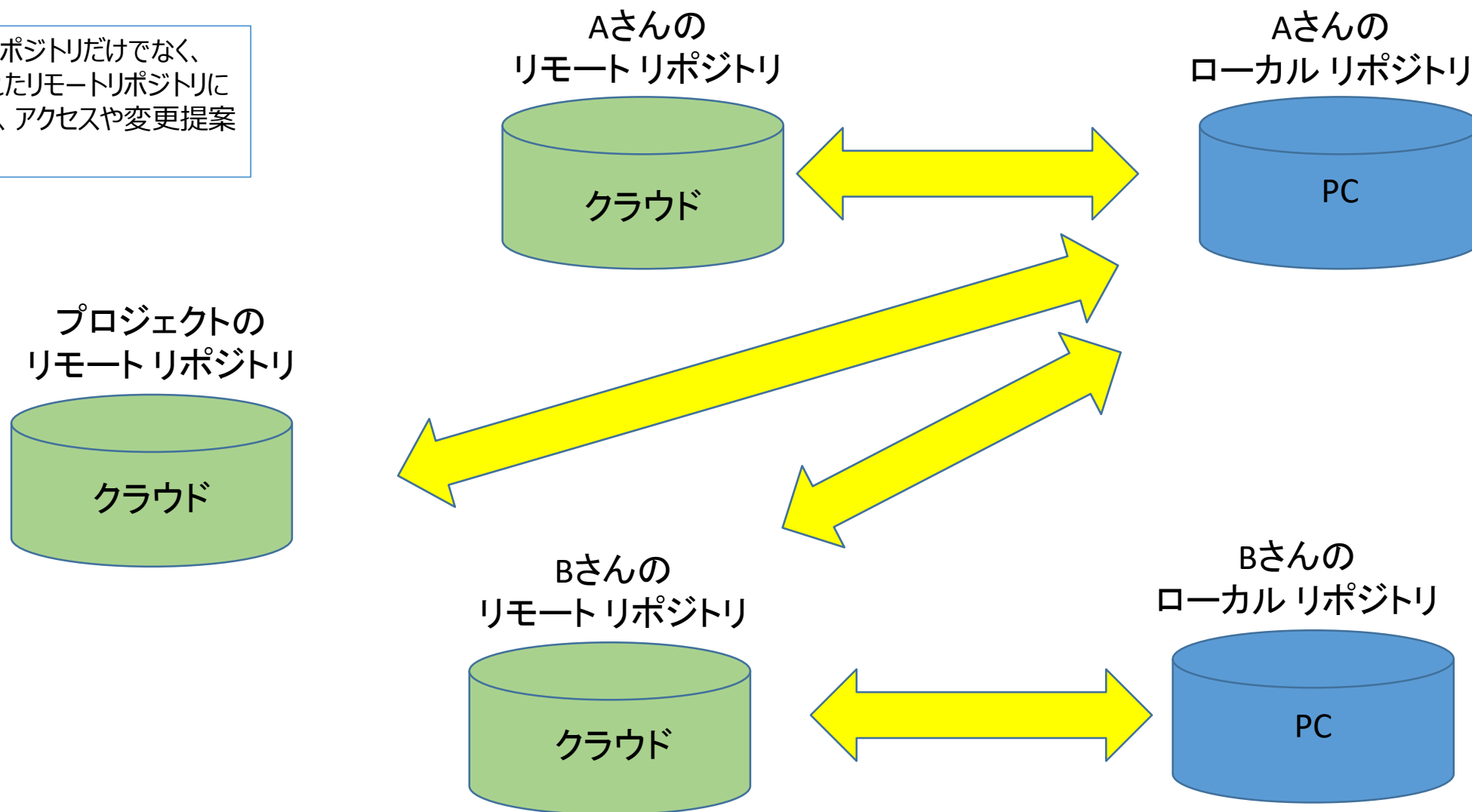
リポジトリのイメージ1

リポジトリ: ファイルやディレクトリの状態(変更履歴等)を記録する場所



リポジトリのイメージ2

自分のリポジトリだけでなく、
公開されたリモートリポジトリに
対しても、アクセスや変更提案
ができる



ファイル表示

*Web上での作業

GitHubの適当なリモートリポジトリへ移動

以下はOpenChain-Project/Onboarding-JWGを例にとって説明

(<https://github.com/OpenChain-Project/Onboarding-JWG>)

README.mdをクリック

README.mdの内容が表示される

“md”はMarkdownフォーマット

READMEやLICENSEなどGitHub上のテキストファイルはmdフォーマットで記述されることが多い

Onboarding-JWG/Leaflet/One-Page_Version/review/へ移動

(https://github.com/OpenChain-Project/Onboarding-JWG/tree/master/Leaflet/One-Page_Version/review)

a_openchain_leaflet_20180615.pptxをクリック

Downloadをクリック

ファイルがPCにDownloadされる

リポジトリ作成

*Web上での作業

自分のProfile画面 -> Repositories

Newを押す

リポジトリ名を入力

Descriptionを簡単に入力

Publicを選択

Add .gitignore: None

Add a license: None （選択できる候補にはドキュメントに適したLicenseは無さそう）

Create repositoryを押す

リモートリポジトリが作成される

自分のProfile画面にリモートリポジトリが表示される

[自分のProfile画面]

右上のアイコンをクリックするとプルダウンメニューが表示される

Your Profileを選択

初期設定

*Web上での作業

作成したリモートリポジトリへ移動

README.mdの作成

そのままでも良いし、少し何か書いてもよい

リモートリポジトリへCommit

Insights -> Community

以下の作成が推奨される

README.md

LICENSE.md

CONTRIBUTING.md

Code_of_Conduct.md

* Markdown形式で記述

Settings -> Collaborators

GitHubのアカウントを持つ人に変更権を付与できる

統計情報

*Web上での作業

Insights -> Traffic

統計情報が表示される

Insights -> Network

ブランチや変更のイメージ図が表示される

新規ファイル作成1

*Windows上での作業

エディタ等でテキストファイルを作成

ローカルリポジトリを作成する前であれば、リポジトリ外にファイルを作成したことになる

ローカルでは変更が管理されていない状態

*Web上での作業

Upload filesを押す

テキストファイルをドラッグする

コメント記入

Masterブランチを選択

(リモートリポジトリへ)Commitする

新規ファイル作成 & Pull Request作成1

*Windows上での作業

テキストファイルを作成

ローカルリポジトリを作成する前であれば、リポジトリ外にファイルを作成したことになる
ローカルでは変更が管理されていない状態

*Web上での作業

Upload filesを押す

テキストファイルをドラッグする

コメント記入

Newブランチを選択

Propose Changesを押す

(リモートリポジトリへ) Pull Requestが作成される

GitHub Desktop起動1

注: クラウド上でもClone(リモートリポジトリ)を作成できる

*Windows上での作業

GitHub Desktopを起動

GitHubアカウントでログイン

(1)未だWindows上にClone(ローカルリポジトリ)がない場合

File -> Clone repository

作成したGitHubのリモートリポジトリを選択

Cloneを押す

Windows上にClone(ローカルリポジトリ)が作成され、GitHub Desktop上にも登録される

(2)既にWindows上にCloneがあるが、GitHub Desktopに登録されていない場合

File -> Add local repository

PC上のローカルリポジトリを選択

Add repositoryを押す

GitHub Desktop上にローカルリポジトリが登録される

*Web上での作業

Clone or Downloadを押す

GitHub Desktopが自動的に起動

GitHubフォルダ内にローカルリポジトリが作成される

GitHub Desktop起動2

一度前頁の設定が完了している場合

*Web上での作業

Clone or Downloadを押す

GitHub Desktopが自動的に起動

GitHub Desktopのローカルリポジトリが自動的に更新される

新規ファイル作成 & Pull Request作成2

*Windows上での作業

ローカルリポジトリへ移動

ローカルリポジトリ内のフォルダへ移動または作成

テキストファイルを作成

*GitHub Desktopでの作業

先ほど作成したテキストファイルがあることを確認

上の方のブランチアイコンを押す

ブランチ名を作成

ローカルリポジトリのブランチへCommit

リモートリポジトリへPush

*Web上での作業

リモートリポジトリに先ほど作成したブランチがあることを確認

Compare & Pull requestを押す

リモートリポジトリでPull Requestを作成

新規ファイル作成2

*Windows上での作業

ローカルリポジトリへ移動

ローカルリポジトリ内のフォルダへ移動または作成
テキストファイルを作成

*GitHub Desktopでの作業

先ほど作成したテキストファイルがあることを確認

(ローカルリポジトリへ) Commit

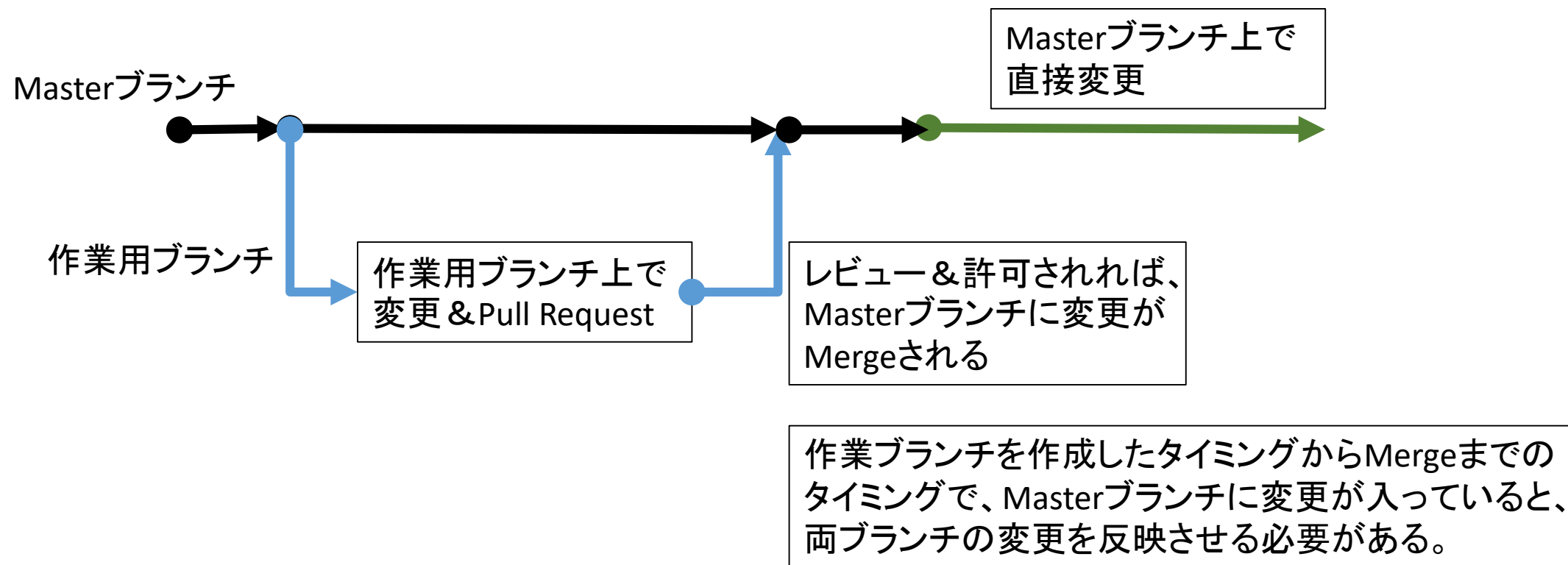
(リモートリポジトリへ) Push

*Web上での作業

先ほど作成したテキストファイルがリモートリポジトリにあることを確認

ブランチとPull Requestのイメージ

Insight -> Network
変更やブランチの様子を確認できる



ブランチとリポジトリのイメージ

Push前

リモートリポジトリ

Masterブランチ

ローカルリポジトリで作業した内容は、
Pushするまではリモートリポジトリに反
映されない

ローカルリポジトリ

Masterブランチ

作業用ブランチ

作業用ブランチ上で
変更 & Pull Request

Push後

リモートリポジトリ

Masterブランチ

作業用ブランチ

作業用ブランチ上で
変更 & Pull Request

ローカルリポジトリ

Masterブランチ

作業用ブランチ

作業用ブランチ上で
変更 & Pull Request

Push

Issue登録

*Web上での作業

リモートリポジトリへ移動

Issuesを押す

New Issueを押す

Titleに題名を記載する

Commentを記載する

ファイルをComment欄にドラッグすることでUpload可能
(オプション)

Assigneeを選択

Labelsを選択

Milestoneを記載

Submit New Issueを押す

登録後にも編集可能

Issue & Pull Request運用例

